

これからも感情を持ち続けて情熱を持って
～持ち続ける想いが何歳になっても私を動かす～

4年ぶりの一時帰国は一か月半弱滞在する中、前回記述したガーナ高校生日本ツアー添乗は2週間ありました。それ以外の活動では、4年ぶりだったのにも関わらず、2019年までの時と同じ様にミスワールドファイナリストを対象とした「目的ある美＝Beauty with purpose」のセミナー講師として呼んでいただき、話しをさせていただきました。その中でファイナリストの方々に伝えたことは「コロナ禍になり、世界がこれからどうなってしまうのだろうか?となった時、日本に帰ったらガーナに戻って来られるという自信はなくガーナに留まったからこそ、この4年の中でずっと思い抱いていた図書館をつくることが出来た。あの時に日本に帰っていたら図書館は出来なかった。また悔しい、腹がたつ、うれしいなどの感情を持ち続けてきたからこそ、図書館をつくる事が出来た。」という事です。怒りや悔しさの感情は決して良い物だと言われません。全てがこの感情ではなく、うれしい楽しいの想いもあって怒り悔しさの感情を持っています。だからこそ転んだ後に、悩んだ後に、前進する力を兼ね備えているのだと思うのです。今回の一時帰国では、ご縁あってインターネットラジオ『ゆめのたね』水曜日朝7時から放送の『あなたらしく』に9月のマンスリーゲストで出演させていただきました。キャリアコンサルタントの国家資格を持つパーソナリティの武田さゆりさんとは2021年にインターネットで開催されたSDGs 高校で知り合いました。「としこ先生」「さゆり先生」と呼ばさせていただく間柄で、さゆり先生よりガーナに行くきっかけとなったことを訊かれ、その当時の事を話しました。8月に収録9月に放送されたわけですが、改めてその放送を聴くと、ガーナに行くきっかけとなったのはガーナに対する熱い恋する感情でした。「感情で動くのは愚か者」とまで人前で非難されたのも事実ですが、私にはやはり感情が必要で、私のみならずその感情を良い方向に動かす事が大切だと思うのです。さゆり先生に「図書館を建てた事はゴールですか」と尋ねられた際の私の答えは「通過点」でした。確かに10年も思い続けてきた念願の図書館が小さいながら出来たのも喜ばしいものでありますが、その図書館を利用する生徒の輝かしい眼差しを見ると(もっと本を増やしたい。)と思ったのです。たとえ「感情で動くのは愚か者」と非難されても感情が私の原動力なのです。

ガーナ挨拶 No.63 29/09/2023 國分敏子

